

噛める幸せを考える

フォーラムに多数の市民

「保険で良い歯科医療を」

Ⅲ」を四月二十三日、東京・

研究家の田沼敦子氏の記念

演で良い歯科医療実現に向

全国連絡会（以下連絡会）

新宿農協会館で開催した。

講演と、「お口の何でも相談」

けた連絡会活動を強めるた

は、第八回定期総会の記念

フォーラムでは、噛むこと、

などが行われ、朝日、読売、

めには、定期ニュースの発

イベントとして「噛める幸

食べること、生きること」

東京、産経各紙のイベント

行や、都道府県単位の連絡

せを考える市民フォーラム

と題し、歯科開業医で料理

紹介記事を見た一般市民ら

会づくりと併せてマスコミ

八十余人が参加し、会場は
満席となった。

対策の重要性が指摘され
た。総会は最後に、当面の

記念講演では、昔からの

運動方針と世話人体制を確

日本の食生活が、洋食に比

認した。

べ噛む回数が多く、そのぶ

「お口の何でも相談

ん脳の活性化や歯が丈夫に

時間延長

なるなど、噛むことの大切

東京、千葉の歯科医師四

さと効用などを話した。

人が、直接患者の悩みや相

その後開かれた、連絡会

談に答える「お口の何でも

の第八回総会では「多くの

相談」を行った。これには

歯科医師が長時間労働と

十六人が相談を寄せ、相談

なっており医療の質確保も

内容では「口が渴き、つば

困難だ」との発言や、補綴

が出なくなり会話も不自

物維持管理料、か初診など

由「総入れ歯にした。痛く

歯科医療を歪める点数の問

はないが噛めない、話し難

題が指摘された。さらに保

料理研究家、田沼敦子氏の記念講演のもよう

